

科目名	祖典講読IVD			学期	後期	単位数	2	担当者	松長潤慶
副題	『般若心経秘鍵』を読む								
ナンバリング	M3-01-291	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP	1,2
授業の目的と概要									
『般若心経秘鍵』についての概論と、前期の授業で扱った内容の復習から始め、前期に引き続いて『般若心経秘鍵』を講読し、理解する。前期に引き続き授業を行うので、「祖典講読III D」を受講することが望ましい。									
授業の到達目標									
弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する。									
授業計画									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 概論(講義の進め方等) 2. 『般若心経秘鍵』の特色 3. 『般若心経』の基礎知識 4. 『般若心経秘鍵』の歴史的背景と内容構成 5. 「分別諸乗分・観音菩薩の悟り」 6. 「行人得益分」 7. 「総帰持明分」 8. 「秘藏真言分」 9. 「問答形式の補説」 10. 「流通分」 11. 「上表分」 12. 『般若心経秘鍵』のまとめ①(本書の位置づけ) 13. 『般若心経秘鍵』のまとめ②(本書の特異性) 14. 弘法大師空海の『般若心経』理解の独自性①(空海の思想) 15. 弘法大師空海の『般若心経』理解の独自性②(密教教理) 									
準備学習(予習・復習)・時間									
予習は必要ないが、授業後に復習することが望ましい。約2時間。									
テキスト									
高野山大学編『十巻章』高野山大学出版部									
参考書・参考資料等									
宮坂宥勝監修『空海コレクション2』筑摩書房									
学生に対する評価									
試験(50%)、授業参加の積極性(50%)									
ルーブリック(目標に準拠した評価)									
(C) 原典の音読ができる。									
(B) 原典の内容を部分的に理解できる。									
(A) 『般若心経秘鍵』を体系的に理解できる。									
(S) 空海の著作を体系的に理解できる。									
課題に対するフィードバックの方法									
授業毎に確認する。									
その他									
実務経験のある教員が行う授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業内容か)									